

自然災害対策に対する経営トップのあり方

2011年12月4日

(社)日本能率協会 専任講師 中村 茂弘

【ご紹介】

経営トップが企業の活動の戦略、方向を決定して行くわけですが、このような講演をある企業から依頼されました。要点を下記しますので、ご参考下さい。

経営トップの皆様には、釈迦に説法で恐縮ですが、・・・

トップマネジメントの注意点(多くの指導内容を整理すると)

1. 戦略の重要性
「1つの戦略の誤りは1,000の対策(手法)の投入でもカバーできない」
2. 管理者の責務
① 責任を免れない。② 限られた資源(人、設備、金、・・・時間)を駆使して最良のアウトプットを出す。③ 部下育成～権限移譲へ
3. ビジネスとは連続して発生する問題解決の効果的対策
そのためには、
 - ① 理想目標を立て、自らあくなき説得と達成努力を図る。
 - ② ①の達成の効率・有効性のため、最良の組織化を図る。
 - ③ 重点テーマを陣頭指揮して未来のモデルを早期具現化する。

この視点で、また、一種の「提言」のような形で、今回、自然災害対策マネジメントの在り方を整理させていただくことにさせていただきます。

製造業の経営トップに必要な視点

自然災害対策に対する下記の視点に対し、経営トップとして情報をまとめ、関係者に指揮、指導する活動が必要(下記の視点は多くの企業からご相談をお受けする相談内容を例示したものです)。

【トップ経営視点1】 3・11:東日本大震災の被害総額やメーカーへの影響は？

【トップ経営視点2】 東日本に津波被害が起きる頻度は？

【トップ経営視点3】 経営トップが判定すべき「自然災害はなぜ起きるか？」

【トップ経営視点4】 経営トップが判定すべき「自然災害の回避策」は？

【トップ経営視点5】 自然災害マネジメント・システムのあり方？

【トップ経営視点6】 BCP利用に際し被災の経過をどう見るか？

【トップ経営視点7】 文書だけに終わったBCP事例をどう見るか？

【トップ経営視点8】 ハザードMAPをどのように利用すべきか？

【トップ経営視点9】 異分野に学ぶ被災時の訓練と指揮の不備

【トップ経営視点10】 自然災害対策とニュービジネス

